

第5回システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会
議事録

日時：平成24年3月14日 15時～17時

場所：建築会館 306会議室

出席者：高田（委員長：横浜国大）、中村（幹事：篠塚研究所）、山口（講演者：神奈川県）、大谷（講演者：IHI）、新谷（福井大）、古屋（東京都市大）、植竹（東京電力）、大嶋（千代田アドバンスト・ソリューションズ）、境（ハザマ）、村地（構造計画研究所）、静間（篠塚研究所）（敬称略）計12名

配布資料：1) 山口氏（神奈川県安全防災局工業保安課）発表スライド
2) 大谷委員（IHI 原子力セクター原子力保守技術部）発表スライド
「配管の耐震評価に関する実験研究」
「発電用新型炉に適用する3次元免震装置の開発」
「Vertical seismic response of overhead crane」

内容：話題提供1) 「高圧ガス施設の耐震基準等について」

山口氏（神奈川県）より、神奈川県の高圧ガス施設の耐震基準等について説明があった。同基準には法的な強制力はないが、神奈川県内の高圧ガス施設については平成2年より保有耐力の検討を行っている。このように個別の施設の耐震性は詳細に評価されており概ね把握されているものの、大地震時に施設全体として健全か否かについては不明である。

話題提供2) 「原子力分野での耐震評価に関する実験研究」

大谷委員（IHI）より、機械類の耐震設計における非線形系の挙動、耐震強度、弁の動的機能維持、3次元免震装置開発に関する実験研究について、その実験映像とともに説明があった。実験で破損に至った応力レベルは、許容応力に対して大きな隔たりがある。過度に余裕があることにより、実際の損傷形態や部位を見誤らせ、適切な地震対策が出来なくなる可能性があり、実験により現象を見極めることが重要である。

今後の予定：次回は5月29日15:00～を予定。

以上